

加温栽培「シャインマスカット」の結実安定のための花穂管理方法

表1 花穂整形時の花穂先端部の長さが「シャインマスカット」の結実率に及ぼす影響

作型	区	花穂先端長(cm) ^x	開花前花蕾数	結実数	結実率(%)	80%以上結実した花穂の割合(%)
加温栽培 ^z	5~5.5cm	5.2	109.8	91.0	85.4	60.0
	3~3.5cm	3.0	55.2	50.0	91.5	100
	有意性 ^y	**	**	**	ns	*

^z 加温栽培：H28年12月26日保温開始、加温期間H29年2月3日～6月16日

^y 80%以上結実した花穂の割合は、 χ^2 検定により、*は5%水準で有意差あり。その他の項目は *t* 検定により、**は1%水準で有意差あり、nsは5%水準で有意差なし（結実率はarcsin変換後検定）

^x 満開4日前の先端部の長さ

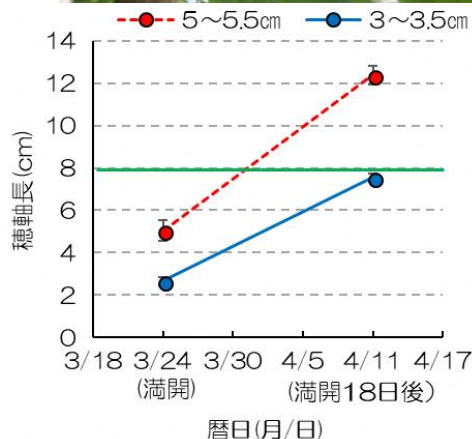


図1 加温栽培「シャインマスカット」における花穂整形時の先端部の長さが穂軸の伸長に及ぼす影響（矢印の範囲が花穂先端部の長さ）

開発のねらい

加温栽培の「シャインマスカット」は結実不良が生じやすいため、現地では花穂整形時に先端部を長く残す場合があります。そこで、開花直前の花穂整形時の先端部の長さとの関係を検討しました。

新技術の概要

- 加温栽培において結実率は、花穂整形時の花穂先端長が3~3.5cm区が高い傾向で、80%以上結実した花穂の割合は、3~3.5cm区が5~5.5cm区に比べ、明らかに高くなりました（表1、図1）。
- 3~3.5cm区の結実数は約50個であり、十分な結実数が確保されました（表1）。
- 加温栽培における穂軸長は、3~3.5cm区で栽培指針で管理の目安としている約8cmとなります。5~5.5cm区では約12cmとなりで明らかに長く（伸び過ぎ）なります（図1）。

活用場面

施設栽培の「シャインマスカット」の結実が安定し、良好な房づくりが可能となります。